

ふじのくに農地中間管理事業ニュース Vol.001

平成26年10月10日

静岡県農地中間管理機構(公益社団法人静岡県農業振興公社 054-250-8988) s-kikou@shizuoka-nk.or.jp

*このニュースをメール配信します。空メールを下さい。

巻頭言 (発行にあたって)

農地の利用集積に関する新たな施策として「農地中間管理事業」が、全国各府県で開始されました。昨年12月に成立した「農地中間管理事業の推進に関する法律」に基づいて、各都道府県にひとつずつ「農地中間管理機構」という組織を立ち上げて、農地利用の集積・集約化を、いっそう強力に推進しようというものです。本県では、「静岡県農業振興公社」が、3月に県知事から指定を受け4月から業務を開始しています。

これから、公社の取組状況や各地の動きなどを、地域の農業者や農地の持ち主はもとより、県及び市町や農業委員会、農協や各種の関係機関の皆様にご提供し、農地中間管理事業への取組みに役立てて頂きたいと考えて発行いたします。皆様方からも、耳より情報がありましたら、お寄せ願います。(理事長 瀧 昇悟)

これまでの取組み

●第1回の受け手の公募

- ・公募期間：6月2日～7月1日
- ・公募区域：吉田町全域
- ・公募結果：応募者：2名(吉田町の認定就農者として認定済の新規就農者)
- ・応募面積：2.5 ha
- ・予定作目：冬レタスなど
- ・配分面積：1.3 ha(予定)
- ・地目、筆数：水田、7筆
- ・権利設定：中間管理権は10月初旬、受け手への利用権設定を11月初旬

●第2回の公募

公募期間：平成26年9月1日～9月30日

番号	市町名	公募区域名	農用地の状況	受け手の応募見込み等
1	沼津市	沼津市全域	水田、畑、樹園	地区内5人、計7.0ha、水稻
2	三島市	三島市全域	水田、畑	地区内11人、地区外1人、計14.0ha、野菜等
3	島田市	大代字松原	水田、畑	1社、1.0ha、茶苗木生産
4		笹間高日向	畑	地区内1人、1.0ha、大豆・野菜等
5		菊川渚久保	水田、畑	地区内1人、1.0ha、茶
6	袋井市	大野	畑(砂地)	地区外1社、10.0ha、野菜
7	函南町	函南町全域	水田、施設園芸	地区内3人、1社、計7.0ha、野菜、水稻等
8	川根本町	川根本町全域	樹園地	—

合計 25経営体 42.0ha

地域の動き

◆新規就農者2名に貸付け

吉田町

眞崎さんと潮さんは吉田町での新規就農を目指して、昨年11月から「がんばる新農業人支援事業」を利用しながら研修を重ねてきました。いよいよこの秋から独立して冬レタスなどを作付する予定のところに、吉田町とJAハイナンから農地



中間管理事業を紹介され、営農指導を受けていた農業経営士の大石さんの全面的な支援を受けながら、6月公募に応募、11月初旬には県内初の事業利用者として営農を始める予定です。

今回のポイントは、①JAの取組みにより新規就農の受入れが進んでいた、②人・農地プランで中心的経営体に位置づけられていた③吉田町独自の農地利用支援措置と組み合わせることなどで、お二人への水田約1.3haの利用権設定が進みました。県下有数の広がりをもつ「吉田たんぼ」は、水稻やレタス栽培などによる周年利用がいっそう活発になると見込まれます。

◆ 耕作者組合が主体となって集積

沼津市

沼津市の西部、富士市との境に近い水田地帯の矢取地区では、旧土地改良区を耕作者組合に組織替えして、用水の管理や農地の利用調整を行っています。JAなんすんの農地利用調整推進員の提案を契機に、農地中間管理事業を利用し、30数筆、約4haを担い手5人が借受ける予定です。地元の農業委員とJAが受け手の選定などを支援し、9月公募にこぎつけました。用水施設の維持管理などに「地域集積協力金」を活用する予定もあり、これからも富士山麓の田園風景はしっかり保たれます。

◆ 地域の茶業者が集積ルールづくり

牧之原市

日本農業新聞にも大きく紹介されましたが、牧之原市大江、片浜地区では、茶園の規模拡大を希望する担い手に、茶園を公平に面的な集積をするためのルール作りが始まっています。今後の公募に向けて、ルールに基づいた人・農地プランの見直しと農地中間管理事業の活用準備が進んでおり、産地力の維持強化を目指して、地域ぐるみの取組みが本格化しています。



◆ 賃借契約の更新を農地中間管理事業で

袋井市



W農園ホームページより

岐阜市に本社を置くW農園（株）は、JA遠州中央と袋井市の支援により、袋井市南部の海岸砂地を農地利用集積円滑化事業で集团的に借受け、ダイコンの大規模栽培を行っています。今年、利用権の更新時期を迎え、JAの勤めにより農地中間管理事業による、より安定的な農地利用を目指しています。耕作放棄地が目立った地域でしたが、引き続き有効利用されます。

お知らせとお願い

● 第2回市町・JA担当者説明会（10月27日（月））

静岡市葵区の産業経済会館で、第2回市町・JA農地中間管理事業担当者会議を開催する予定です。主な議題は、①これまでの推進状況 ②公募の推進 ③機構集積協力金の活用 ④中間保有と農地管理 ⑤来年度に向けた推進体制の強化 ほかです。

● 農協・市町巡回（10月～11月）

地域の農地利用集積の推進状況や課題について意見交換するため、JA中央会と機構、および農林事務所と市町担当者が、各JAにお伺いします。詳しい日程を調整中ですのでよろしくお願い致します。

● 12月公募の実施

- ・ 公募期間 12月1日～12月31日（予定）まで
- ・ 受付場所 機構、および各市町および各JAの担当
- ＊ 詳しくは、機構担当（平野、松本、高橋）(054-250-8988)までお問合せ下さい
<http://www.shizuoka-nk.or.jp/tyuukannkanri.htm>
- ＊ 今年度中に、すべての市町で借受希望者の公募が行われるようお願い致します

● 平成27年度に向けた体制強化

農地中間管理事業のいっそうの推進を図るため、当機構では推進体制を見直し強化するよう検討しております。

各市町やJAにおいても、地域の状況を見ながら推進体制の充実をお願いします。

また、市町との業務委託契約について、27年度当初予算に計上して頂くよう重ねてお願い致します。予定している契約内容や金額は別途弊社からお知らせします。

* 次号は、「機構集積協力金」特集の予定です。